



北スラウェシ 日本人会
NORTH SULAWESI JAPAN CLUB

日本人会会報

タルシウス

TARSIUS



第3号

SELAMAT MENEMPUH HIDUP BAHAGIA

Untuk

Meiske Taroreh
dan
Yuichi Oshikawa

【左写真】

去る11月25日、会員の押川さんがメイスク・タロレさんとマナドでご結婚されました。
(詳しくは本文をお読み下さい。)

< 1999年 正月 >

北スラウェシ 日本人会

〈 会報 タルシウス 第3号 〉



目 次

◇ 年頭のご挨拶 北スラウェシ日本人会 会長	前田 良昭	2
◇ 南北スラウェシ 医療従事者訓練センター建設計画	牛崎英次郎	3
◇ 国際結婚 完全マニュアル	内田 忠茂	6
◇ スラウェシの珍獣	川井 雄二	11
◇ 「国際交流基金」のご紹介	村上かおり	15
◇ 外国語学習における「動機」	村上かおり	19
◇ マナドへ来て2ヵ月経ちました	喜多 和	21
◇ 国軍階級に関して	辻田 武司	24
◇ 携帯常備薬に関して	辻田 武司	25
◇ アルコールと肝臓	海外生活健康マニュアル	27
◇ スラウェシの海 シーラカンス	八巻 宏之	28
◇ ゴルフプレーのお勧め	牛崎英次郎	32
◇ ミナハサ観光案内(3)	川井 雄二	35
◇ 日本の「恥」とインドネシアの「シリッ」	佐久間 徹	37
◇ 北セレベスと日本の子ども交流会 報告書	39
◇ 編集後記	日本人会編集部	46
◇ 安全対策連絡協議会	お知らせ/緊急連絡網	47

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます、本年も宜しく願い申し上げます。
年頭に当たり皆様方のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げますと共に良き歳でありますよう願っております。

私はインドネシアに赴任して二年を経過致しました、当地に赴任した当初は言葉や習慣又食事等に悩まされ気の強い私であります。少々ホームシックに掛かり大変でしたが住めば都の言葉通り現在は第二の故郷の様に思えて参りました、インドネシアの友人も出来又日本人会の皆様方とのお付き合い等で毎日楽しい生活を送らせて頂いております。

本年度の私の願いは趣味に費やす時間を多く取り魚釣やゴルフを満喫できる時間を作り楽しみたいと思っております、自称魚釣はプロ級（釣ばか）であります。成果の方はお魚に聞いて頂きたいと思っております、船釣及びトローリングの道具を現在製作中で有ります。

皆様方も興味の有る方はご一報下さい一緒に楽しもうではありませんか。

1999年元旦

北スラウェシ日本人会 会長 前田 良昭

これだけはしっておきたいインドネシア

- (1) インドネシア共和国は西はサバン（スマトラ島）から東はメラウケ（イリアン、ジャヤ）に至る約51,000 kmの世界最大の群島国家である。

地理的には北緯6度から南緯11度、東経95度から東経141度に位置している。総面積は約192万km²（日本の約5.5倍の広さ）大小合わせて13,667の島々からなり、約3,500の島々に住民が居住している。

インドネシアは火山地帯であり、全土に128の火山があり、その内78が活火山である。

- (2) インドネシア共和国の歴史は (1) ヒンズー教文明時代 (2) イスラム教文明時代 (3) オランダの統治時代 (4) 日本の占領とインドネシアの独立時代 (5) スカルノ時代 (6) スハルト時代の6期に大別する事が出来る。

- (3) 日本軍の占領とインドネシアの独立

1941年12月、太平洋戦争勃発、日本とオランダは戦争状態に突入。

1942年 3月、首都バタビア（現ジャカルタ）を日本軍が攻略。

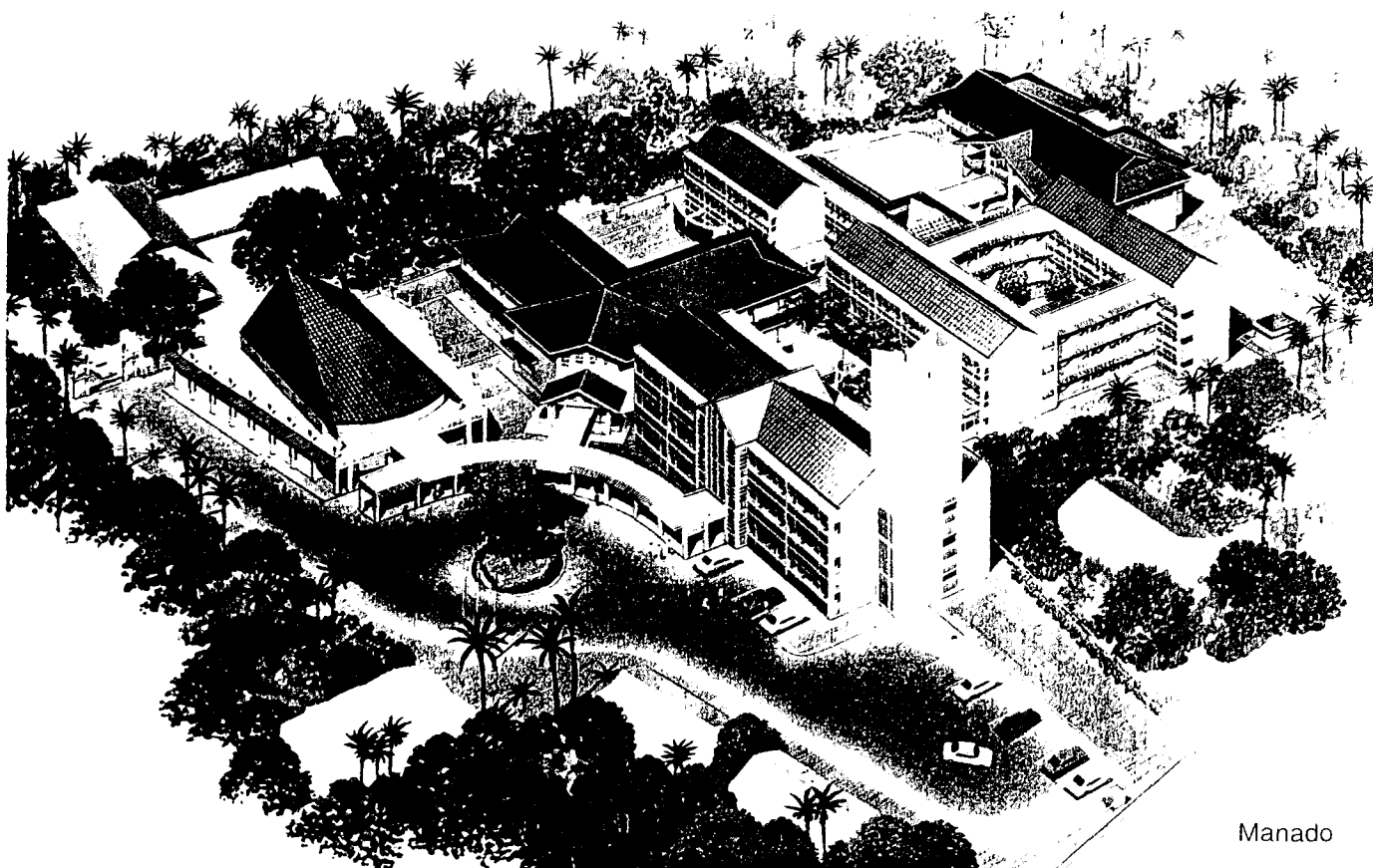
1944年 9月、禁止されていたインドネシア国旗と国家が解禁される。

1945年 8月、インドネシア独立準備委員会発足を決定、同年8月15日、日本の無条件降伏、同年8月17日午前10時インドネシア共和国の独立を宣言し、オランダの主権復帰を拒否する。



BALAI PELATIHAN KESEHATAN DI SULAWESI UTARA DAN SULAWESI SELATAN

HEALTH MANPOWER TRAINING INSTITUTIONS
IN NORTH SULAWESI AND SOUTH SULAWESI



Manado

インドネシア共和国南北スラウェシ医療従事者訓練センター

インドネシア共和国 南北スラウェシ医療従事者訓練センター 建設計画
The Project for The Construction of Health Manpower Training Institution
in North Sulawesi and Improvement of Health Manpower Training
Institution in South Sulawesi in the Republic of Indonesia

パシフィック コンサルタント インターナショナル
現場常駐監理責任者 牛崎英次郎

初めに、皆さんは ODA という言葉をご存知でしょうか。更に無償資金協力という言葉をお聞きでしょうか。このプロジェクトのご紹介前にこれ等のことを概略ご説明致します。

ODA: 政府開発援助(Official Development Assistance)

定義 ① 政府または政府の実施機関により、開発途上国または国際機関に供与されるものであること。

② 開発途上国の経済開発と福祉の向上に寄与することを主な目的としていること。

③ 資金協力については、グラント・エレメント(*)が25%以上であること。

(*) 援助条件の緩やかさを示す指標

- 形態 I 二国間贈与
II 二国間政府貸与
III 国際機関への出資・拠出(他国間援助)

上記形態 I の二国間贈与は以下の二点に分けられます

イ、技術協力(開発途上国に技術移転を行うもの)

ロ、無償資金協力(返済義務を課さない資金を供与するもの)

無償資金協力は、学校、病院、研究所などの施設の建設、教育訓練教材や医療機材などの資機材の調達、債務救済などに必要な資金を供与するもので その内容に応じて 1. 一般無償援助、2. 水産無償援助、3. 災害緊急援助、4. 文化無償援助、5. 食糧援助、6. 食糧増産援助に分類されます。

それでは本題のこのプロジェクトの概要についてご案内致します。

A、プロジェクトの目的

インドネシア共和国では、急激な経済成長の一方で、社会福祉、保険医療等の社会インフラ分野の立ち遅れが生じており、地域間或いは階層間における保健医療事情の格差が拡大しつつあります。このような問題の改善のため、日本は特にスラウェシ地域における地域保健医療システムの強化支援として、保健医療技術者のための訓練センターの施設の拡充及び機材の調達を行う目的で、日本の無償資金協力により実施されております。

B、概要

施主:インドネシア共和国 保健省

コンサルタント:パシフィック コンサルタント インターナショナル

建設業者:飛島建設株式会社

建設地:北スラウェシ州 マナード市マララヤン地区

南スラウェシ州 ウジュンパンダン市アンタン ラヤ地区

建設期間:1998年4月29日～1999年3月15日

規模:マナード 3,760 m² 鉄筋コンクリート造 3階建一部平屋建

管理・訓練棟、宿舎棟(40室、80名)、食堂棟、講堂棟(108名)、その他

ウジュンパンダン 1,700 m² 鉄筋コンクリート造 2階建及び平屋建

宿舎棟(20室、40名)、講堂棟(216名)

C、建設事情

建物のデザインコンセプトは、インドネシアの風土・文化、医療訓練施設としての特殊性を考慮すると共に、既存施設との調和、自然環境にも配慮した、21世紀に向けた新しい訓練施設の創造を目指しております。

このコンセプトによる設計図に基づいて工事を進めておりますが、このマナードで調達出来る建設資材はコンクリート位で、殆どをジャワ島より、物によっては第三国(日本を含めて)よりの調達に頼らざるを得ない状況です。更に、労務者もこの地方の人たちは高度な技術を要求される建設に習熟しておらず、多くはジャワ島より雇用しなければならない状態です。

雇用関係で言えば、この不況下でマナードで800人/日、ウジュンパンパンダンで500人/日を雇用している貢献度も、日本の無償資金協力の賜物と考えます。

日本の一般無償案件は単年度決算であることから、会計年度内一年限りの工事期間となっております。建設開始が4月末で完成引き渡しが翌年の3月末であります。建設開始時にこの国の歴史の転換点とも言える騒動に遭遇し、その影響を諸に受け、実質10ヶ月の短期間になってしまいました。また、本年はエルニーニョ現象の反対で、工事開始以降多降雨に悩まされ、工事進捗の足を引っ張られております。

併し乍ら、工事は日本の建設業者の請負であり、工期内完成と良好な品質を求められており、目標達成のため、建設業者は朝7:30分の始業から夜の12時まで懸命の努力を重ねております。

皆さん、一度建設現場を訪問されては如何でしょうか。

以上

緊急特別企画

国際結婚 完全マニュアル (インドネシア編)

内田 忠茂



先月 (11月15日)、PRIMA KASHINDO 押川裕一さんが、MANADO の教会にて、めでたく結婚されました。

そのことを祝して、今回は緊急特別企画として結婚完全マニュアルを皆様にご紹介いたします。

I. 手続き、II. 必要書類、III. 注意事項 などのすべてを完全網羅しました。これからインドネシアで結婚を予定されている方々の参考にしていただけたら幸いです。

外国籍者とインドネシア国籍者間の婚姻について（インドネシア側）

I. 手続き

1. 外国籍者とインドネシア国籍者双方の宗教が同一である場合、

- a. イスラム教徒は、宗教省宗教事務所（KANTOR URUSAN AGAMA）係官立会いの下、
- b. キリスト（プロテスタント及びカトリック）教徒は教会（GEREJA）で、
- c. 仏教徒は仏寺（VIHARA）で、
- d. ヒンドゥー教徒はヒンドゥー聖職者（PANDITA）立会いの下、

それぞれ婚姻を締結し、その後、民事登記所（CATATAN SIPIL）で登記を行う。

民事登記所で婚姻登記を行うに際しては、男女双方から立会い人各1名が必要。

2. 外国籍者とインドネシア国籍者が宗教を異にしたまま婚姻しようとする場合には、

上記 a～d に代えて婚姻地を管轄する地方裁判所の許可を取得し、民事登記所で登記を行う。

II. 必要書類

1. a～d 共通

- i. 婚姻用件具備証明書1通（外国籍者のみ）。
- ii. 写真（a～dによってサイズ、枚数は異なる）。

2. 民事登記所

- i. 上記 a, b, c, d いずれか発行の婚姻証明書 (又は、地方裁判所の許可書)。
- ii. 出生証明書。
- iii. 有効な旅券のコピー (外国籍者のみ)。
- iv. 婚姻用件具備証明書 (外国籍者のみ)。
- v. 写真 (6 × 4 c m) 各人 3 枚。
- vi. 納税証明書 (外国籍者のみ)。
- vii. 労働局からの許可書 (外国籍者のみ)。
- viii. 会社からの仕事をしているという証明書。
- ix. 改宗証明書

3. 州警察 (POLISI DAERAH)

- i. 有効な旅券のコピー (外国籍者のみ)。
- ii. 出生証明書。
- iii. 未婚証明書。

III. 注意事項

1. 婚姻を目的にインドネシアに入国する外国籍者は無査証ではなく、短期訪問査証 (VISA KUNJUNGAN SOSIAL BUDAYA) を取得しなければならない。
2. 上記の手続き及び必要書類は外国籍者が男女いずれであっても共通。

外国籍者とインドネシア国籍者間の婚姻について（日本側）

I. 手続き

1. 在ウジュン・パンダン日本国総領事館に連絡し、婚姻証明書発給申請書を請求する。
2. 日本から戸籍謄本か抄本をとりよせる。
3. 必要書類がすべてそろえ在ウジュン・パンダン日本国総領事館に提出。

II. 必要書類

1. 日本人夫又は妻が従前の本籍地と同じところに新本籍を設けるとき
 - i. 届書 2通
 - ii. 戸籍謄本（抄本） 2通
 - iii. 婚姻証明書（挙行地の方式又は外国人配偶者の本国法方式による婚姻のとき。以下同じ） 2通
 - iv. 同和訳文 2通
 - v. 国籍を証明する書面 2通
 - vi. 同和訳文 2通
 - vii. 出生証明書（外国籍者のみ） 1通
 - viii. 同和訳文（外国籍者のみ） 1通

2. 日本人夫又は妻が従前の本籍地と全く別のところに新本籍を設けるとき

- i. 届書 3通
- ii. 戸籍謄本(抄本) 2通
- iii. 婚姻証明書(挙行地の方式又は外国人配偶者の本国法方式による婚姻のとき。以下同じ) 3通
- iv. 同和訳文 3通
- v. 国籍を証明する書面 3通
- vi. 同和訳文 3通
- vii. 出生証明書 1通
- viii. 同和訳文 1通



押川 裕一 さん(27歳)とメイスク・タロレ /Meiske Taroreh さん(24歳)が
11月25日、マナドの教会にて永遠の愛を誓い、同日 NOVOTEL にて
華燭の典を挙げられました。

新婦はトモホン近郊のピナラス /Pinaras 町出身です。

お二人の運命的な出会いはマナドのスーパーマーケット、GERAEL にて。
レジの手伝いをしていたメイスクさんと食糧の買い出しに来ていた押川
さんが出会ったその時、お互いに一目惚れしたそうです。

新婚の押川さんは現在公私共に超多忙なため、残念ながら今回はご本人
からの寄稿を頂くことはできませんでしたが、次号には結婚式の様子など
を綴ってもらえるよう確約を取り得ております。ご期待下さい 【編集部】

スラウェシの珍獣

川井 雄二

1. ウォーレス線とウェーバー線

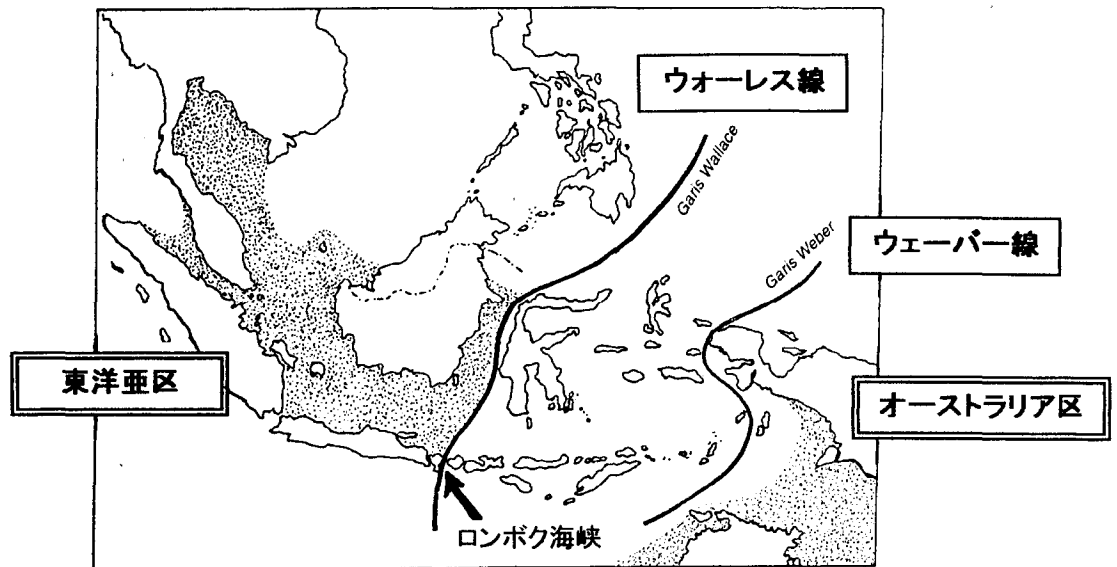
ロンボク海峡を挟んだバリ島とロンボク島はわずか50キロの距離にあるにもかかわらず、その自然条件は大きく異なり、生息する動植物を分かつ明瞭な境界となっている。

この境界線はロンボク海峡から北上し、カリマンタンとスラウェシ島間のマカッサル海峡を通り、ミンダナオ島の南を抜ける。この生物地理学上の線をウォーレス線と呼ぶ。

アルフレッド・ラッセル・ウォーレスの種の起源と分布の研究はダーウィンに大きな影響を与え、『種の起源』の理論的基礎となった。

ウォーレス線の西地帯、スマトラ島、ジャワ島、カリマンタン島は実際にはアジア大陸の一部であり、現在は「一時的に」本土から切り離されて島となっているにすぎない。大陸系の動物はこの地方を自由に往来できたが、大部分は深い海溝があるウォーレス線を東に越えることができなかった。

後の研究によりこの線は東へ移動しウェーバー線として知られるようになったが、その原理は同じである。オーストラリアとニューギニア島は実際には一つの大陸と考えられる。そして大部分の動物たちは深い海溝があるウェーバー線を西に越えることができなかった。



このウォーレス線とウェーバー線の間にある地域にはスラウェシ島、マルク諸島、ヌサトゥンガラ諸島などが位置する。これらの島々は本土と地質学的結びつきを持っておらず、島と島との間の海は非常に深いのでこれらの島々が本土と陸続きであったとは絶対に有り得ないし、島同士が続いていたこともなかったと考えられる。

これらの島々は世界中でも地質学的にきわめて不安定な地域の一つとされ、島をつくる火山活動及び、地殻活動と、島の近くに横たわる深い海溝との間には明らかに何らかの関係があり、多くの理論が提出されている。

この地域は世界でも有数の蝶の産地で、特異な型の固有種が多い。スラウェシ島にはセレベスアオスジアゲハ (Graphium Milon) やカザシシロチョウ (Delis) などが、蝶愛好家垂涎の的である世界最大で最美といわれるトリバネアゲハ (Ornithoptera) もセラム島などに生息する。

ダーウィンとウォーレスがはじめて種の起源を説明する法則を世界に認識させて以来、島の動物相の分布状態を説明する多くの理論が出された。

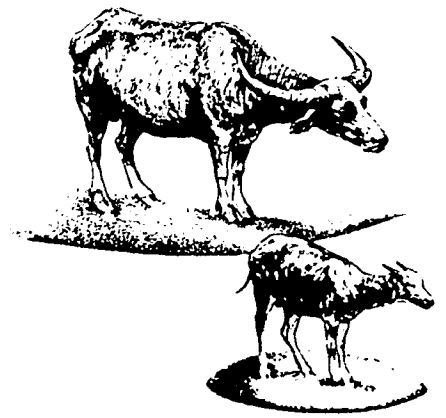
古生物学者ジョージ・ゲイロード・シンプソンが提出した『フィルダーブリッジ』はこれらの理論の中で最も説得力に富んだ一つの理論であり、東南アジアはその理論を実証する理想的な場所である。しかし、ウォーレス線とウェーバー線の間にある地域にはこのフィルダーブリッジの概念が適用されず、シンプソンは『スウィープーク路』という理論で動植物がアジア本土から島々に渡った方法を説明した。

2. 島に住む動物

島に住む哺乳類は、しばしば本土に住む近縁種よりも小さい。その理由は、小さな島で動物が餌をあさったり、歩き回ったりするのに有利であるように適応した結果であると信じられている。

熱帯アジア大陸に広く見られる『水牛』（上図）は肩高がほぼ1.8メートルである。スラウェシ島だけに生息する矮小水牛である『アノア』（下図）は世界中の野性牛の中で最も小型で、肩高は90cmしかなく、本土の水牛の半分位の大きさである。

かつてはスラウェシ島にはアジアゾウのほぼ半分の大きさの『コビトゾウ』が生息していたが絶滅した。



3. タルシウス (TARSIUS) [メガネザル]

霊長目原猿亜目メガネザル科。世界で最も小さい猿の一つである。学術名は『Tarsius Spectrum』 タルシウスはこの他、フィリピンに生息する Tarsius Syrichta (ミンダナオ・メガネザル) 及び カリマンタンとスラウェシに生息する Tarsius Bancanus の2種類があるが、この北スラウェシの Tangkoko Batu Angus 森林公園内のみ生息する Tarsius Spectrum が最小である。Tarsius の語源は、『Tarsus (足根骨)』である。インドネシア語では、『Tangkasi』『Wesing』などと呼ばれる。

体長は約13cm程だが尾が20cmもあり、この長い尾でバランスをとり数メートルも跳ぶ。長い指は手足とも5本ずつあり、毛が生えていない。指の先は吸盤状になっており、垂直な幹でもとりつける。

前方20mほど先のしか見ることができず、また目は左右には動かない。左右を見るためには頭ごと動かさなければならない。鼻と同じように首を左右に180度回転させることができる。

夜行性で、昼間は木陰でじっとしており、夜になると昆虫を食べるため活動する。

かつて、人々はタルシウスは鼻(幽霊鳥)が変化したものだと思い、『幽霊猿』と呼んで恐れた。タルシウスを目にしてしまった者には不幸が訪れると信じられ、それを逃れるためには3日間家の中に籠らなければならないとされた。英語でもタルシウスは、別名『Spector Lemur (幽霊狐猿)』という。



タルシウスと並んで世界で最も小さい猿と言われるのは下記の2種類である。

①コビトキツネザル 【キツネザル科】マダカスタルに生息。夜行性。

②ピグミーマーモセット 【キヌザル科】南米に生息。

体長16cm、尾の長さ18cm、体重85g。誕生時には15gしかない。大きな豆位の大きさに拡大鏡を使わないと見えないほど。それでも1年で大人になり、2年目には子供を生むことが出来る。樹液や昆虫が食べ物。特に蝶を好む。

タルシウスやコビトキツネザルは『原猿類』に属する。原猿類は外見がネズミやリスなどに似ているものが多い。かぎ状の爪や突き出した鼻など、ヒトやニホンザルなどの『新猿類』が進化の過程で失った原始的な特徴を残す。「物をつかむために親指と他の指が向き合っている」という新猿類と共通の性質も持っている。多くは樹上で暮らす。猿類は顔の裸皮割合が大きいほど進化が進んでいる。

